

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



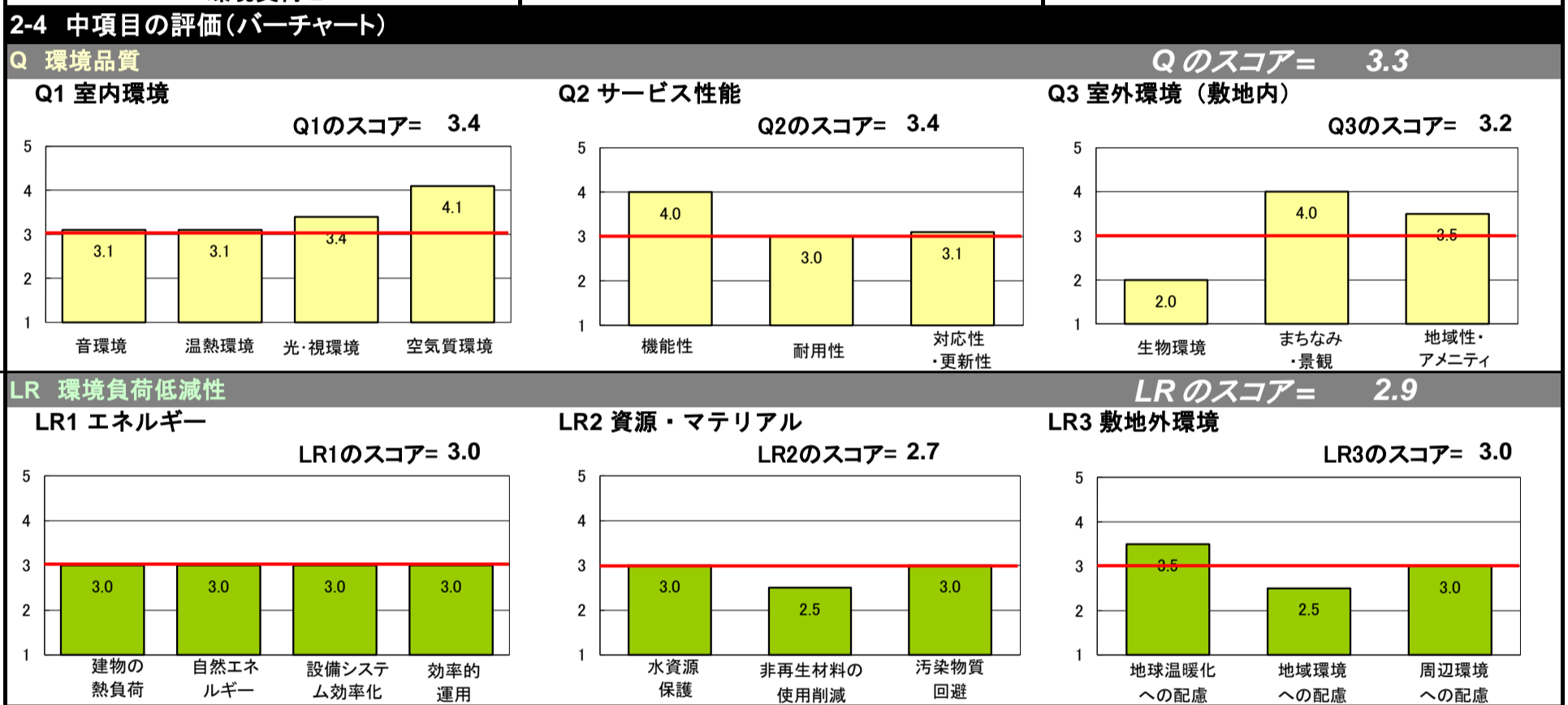
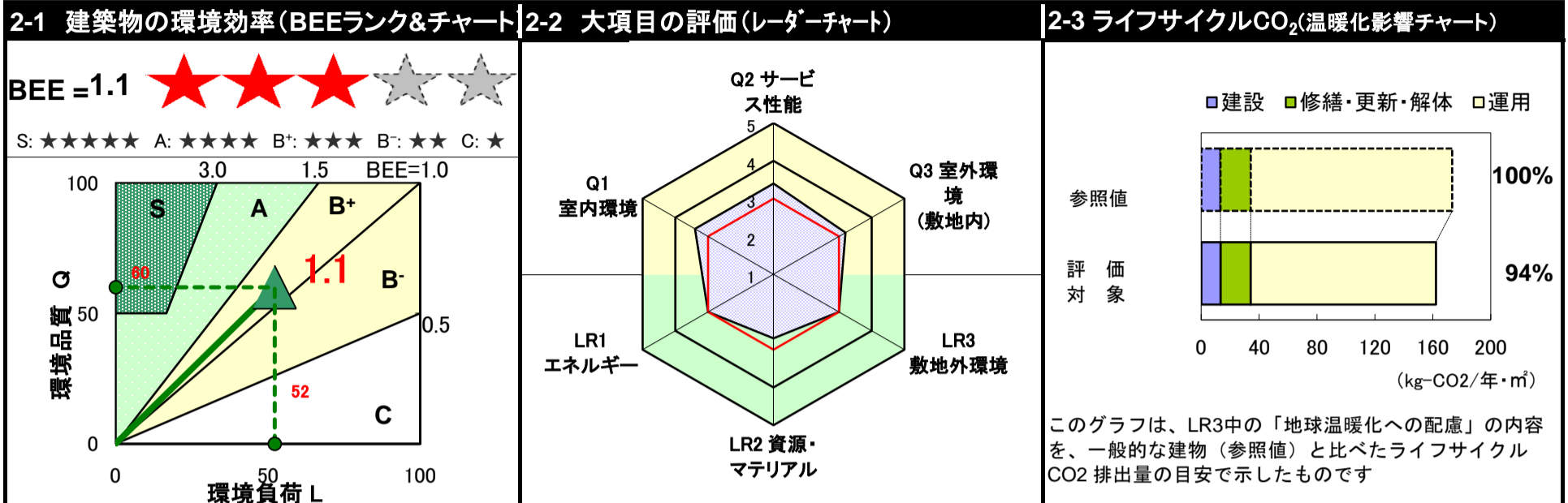
■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

1. 建物概要					
建物名称	特別養護老人ホーム 美咲の里				
建設地	中央区 美咲町1丁目1796番126.131				
用途地域	工業地域				
建物用途	病院				
竣工年	2012年10月 予定				
敷地面積	4,108.55 m ²				
建築面積	2,130.83 m ²				
延床面積	5,293.45 m ²				
階数	地上3F				
構造	RC造				
評価の段階	実施設計段階評価				
評価の実施日	2011年12月9日				
2. CASBEE新潟の評価結果					
		B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{60}{52} = 1.1$		
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★					
3. 新潟市の重点項目の評価					
1. 長寿化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	平均スコア 3.2		バリアフリー	Q2.1.1.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	平均スコア 3.1		維持管理	Q2.1.3	3.5
			更新性	Q2.3.3	3.0
			耐震・免震	Q2.2.1	3.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	平均スコア 3.0		信頼性	Q2.2.4	3.2
			雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1	3.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 2.3		節水	LR2.1.1	3.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	1.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	平均スコア 3.0		生物環境の保全・創出	Q3.1	2.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	4.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	平均スコア 3.5		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	4.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項					
長寿化への取り組みとして、建物の外周部にバルコニーを設けることで外装材の劣化を抑制している。またこのバルコニーは外装補修時の作業スペースとしても機能し、外装部のメンテナンス性を高めている。 水と緑を活かす取り組みとして、敷地の接道部分には植栽を行うことで良好な街並みの形成に貢献している。さらに建物外観にはアースカラーを採用し、周辺の景観との調和を図っている。					

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE®新潟 | 評価結果内訳 |

■使用評価マニュアル：CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築（簡易版）2008年版 使用評価ソフト：CASBEE新潟(v.1.2)



2-5 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>計画敷地が寒冷地であることから、気候特性に十分に配慮した計画とするよう努めた。高齢者を対象とする施設である為、冬の厳しい冷え込みや風・雪の吹き込みなどには特に留意し、高齢者にとって快適な環境となるよう配慮した。</p>		<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>施設特性を考慮し、入居者の居室の壁には十分な遮音性能を持たせる計画とした。また建物外周部に庇を設けることで、夏期の直射日光を遮り、空調負荷を削減する計画とした。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>入居者の居室については天井高さを2.5m以上確保し、居住環境の快適性の向上に努めた。また、生活空間としてのインテリアを意識し、木材などの自然素材を活用した内装計画をCGパースを用いて検討した。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>建物の外観にはアースカラーを採用し、周辺の街並みとの調和を図る計画としている。敷地内には可能な限り植栽を行い、特に道路に接する敷地の南側については中高木などを配置し、街並みの形成に配慮している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>居室の窓部には複層ガラスを採用し、建物の省エネルギー性を高めている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>衛生器具に節水型の機器を採用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>外構を緑化することにより、夏期の日射の照り返しなどを抑制するよう配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される